

地方行革をともに考える シンポジウム in 広島

開催日時：平成20年1月16日（水）

開 場：13：00

開 会：13：30

終 了：16：30

会 場：アステールプラザ 中ホール

主 催：総務省

後 援：広島県、広島県市長会、広島県町村会、中国新聞社

●プログラム

13:00 …… 【開 場】

13:30 …… 【開 会】

主催者挨拶：河合 暁（総務省自治行政局行政体制整備室長）

開催地挨拶：藤田 雄山（広島県知事）

13:40 …… 【基調講演】

「パートナーシップで創出する新しい公共 ―役所の改革と市民の意識改革―」

講師：石原 俊彦（関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科教授）

14:20 …… 【事例発表】

「簡素で効率的な県庁をめざして」〈広島県〉

伊達 英一（広島県総務部総務管理局行政管理室長）

「民の発想で豊かなサービスを～提案型公共サービス民営化制度～」〈千葉県我孫子市〉

海老原 美宣（千葉県我孫子市総務部総務課主幹）

15:00 …… 【休 憩】

15:10 …… 【パネルディスカッション】

「新しい公共空間を形成する戦略本部となるために、

いま自治体に求められているものは何か」

パネリスト 石原 俊彦（関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科教授）

平木 久恵（有限会社グリーンブリーズ）

川本 達志（広島県廿日市市副市長）

河合 暁（総務省自治行政局行政体制整備室長）

コーディネーター 横道 清孝（政策研究大学院大学教授）

16:30 …… 【閉会】

主 催 者 挨 拶

河合 暁

総務省自治行政局行政体制整備室長



本日は、お忙しい中、地方行革をともに考えるシンポジウムに多くの方々にお越しいただき、ありがとうございます。

少子高齢化の進展など、社会経済情勢の変化に伴い、公共サービスへの期待やニーズはますます高まっています。一方、厳しい財政状況による経営資源の制約などにより、行政の守備範囲は相対的に縮小してきています。これからは、行政と民間それぞれが持つ活力を結集し、地域全体としての力を高めていくことがますます大切になってきています。

これまで、行政が主として提供してきた公共サービスについて、今後は地域で住民団体をはじめとするNPOや企業など多様な主体が提供する多元的な仕組みを整えていく必要があります。これからの地方公共団体は、地域のさまざまな力を結集し、新しい公共空間

を形成する戦略本部となり、行政自らが担う役割を重点化していくことが求められています。

このシンポジウムは、このような地方公共団体を取り巻く状況の中、地方公共団体は今、どのような取組を行い、今後さらに何が必要とされているのか、自治体関係者のみならず、地域住民の方々と一緒に考えることを目的に開催するものです。

大変お忙しい中、シンポジウムにご出演いただく石原先生をはじめとする出演者の皆さま、開催地として各方面から多大なご支援ご協力を賜りました広島県庁の皆さまに心からお礼を申し上げます。このシンポジウムが皆さまにとって有意義なものとなりますよう、祈念いたしまして開会にあたりましてのごあいさつとさせていただきます。

藤田 雄山
広島県知事



皆様、こんにちは。本日は「地方行革をともに考えるシンポジウムin広島」に多くの方にお運びいただきまして、お礼を申し上げます。また、開催の準備をいただきました総務省をはじめとする関係者のご尽力に対し、心から敬意を表する次第です。

現在、国や地方を挙げて地方分権改革の議論が行われています。県民や地域住民本意の分権改革を進め、中央政府と対等、協力関係にある地方政府が確立される、いわば真の地方分権改革が実を結ぶためには、私たち地方自治体も不断の行革の努力が必要であると考えています。

このため、広島県は全国に先駆け、86市町村を23の市町に再編するとともに、住民に身近な行政はできる限り基礎自治体が行う、これを原則に、県から市町に対する事務・権限の移譲を積極的に推進しています。

また、県庁組織自らの改革としまして、行政サービスをより効率的、効果的に提供するため、「民間でで

きることは民間へ」を基本的な考え方として、全国のモデルともなる現業業務の抜本見直しや民間委託の推進、指定管理者制度の活用などに積極的に取り組んでいます。

さらに、スリムでスピーディーな組織づくりのための組織再編、全国平均を大きく上回る職員数の削減など、県庁内部の改革にも取り組んでいます。

今後も広島県は、第1に「分権型行政システムの構築」、第2に「より効率的でスリムな県庁の構築」、第3に「県民起点と成果重視の組織風土づくり」を基本方針に行政システム改革を進めてまいります。

皆様には、こうした取組に対し、引き続きご理解ご協力を賜りますよう、お願いを申し上げます。

本日のシンポジウムが皆様とともに行政改革を考える契機となり、近い将来、真の地方分権改革が実を結びますよう祈念いたしまして、ごあいさつとさせていただきます。